

アジア太平洋トレードセンター株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



作成日 2024/7/9

目 次

項 目	ページ
ATCの行動基準	2
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	5, 6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9～13
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	14
緊急事態対応訓練	14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15
これまでの環境活動の紹介	16～23
編集後記	24

□ATCの企業行動基準(具体的事項)

1. 法令等の遵守
ATCは、法令の遵守はもとより、あらゆる場面で人権を尊重し、社会的良識をもって行動します。
2. 社会的に有用なサービスの提供
ATCは多様化する消費者等のニーズに応えるとともに、安全かつ有用なサービスの提供に努めます。
3. 長期的視野にたった経営
ATCは、短期的な収益のみにとらわれず、常に長期的な視野に立った経営を行います。
4. 公正な取引
ATCは、公正かつ自由な競争の確保が市場経済の基本ルールとの認識のもとに商活動を行い、また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持します。
5. 企業情報の開示
ATCは、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、積極的に企業情報を正確かつ公正に、適時開示します。
6. 環境保全への配慮
ATCは、環境問題への配慮を常に忘れず、自主的、積極的に取り組みます。
7. 社会貢献
ATCは、企業の利益と社会の動きを調和させ、『よき企業市民』としての役割を積極的に果たします。
8. 働きやすい職場環境の実現
ATCは、従業員のゆとりと豊かさを実現し、働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格・個性を最大限に尊重し、自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
9. 反社会的勢力及び団体との対決
ATCは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力及び団体には断じて屈しません。

□ごあいさつ

当社は、大阪ベイエリアの咲洲（さきしま）地区で、大型複合施設「ATC」を運営しております。延べ床面積33万㎡に及ぶ建物には、オフィスやショールーム、レストラン、物販店舗にご入居いただき、「ATCホール」では展示会、イベントなどの貸館や自主企画イベントを実施し、多数のお客様にお越しいただいております。

また、介護福祉、環境ビジネス、輸入住宅建材等の常設展示場やデザイナー・クリエイターの創業支援施設を大阪市とともに運営し、当館を利用したIoT、RT(ロボットテクノロジー)を活用した実証事業などの取組を通じて、社会課題の解決や地域活性化にも積極的に取り組んでおります。

2025年には隣接する夢洲（ゆめしま）においてSDG sの達成を目指して大阪・関西万博が開催されますが、当社も「エコアクション21」の取得、運用を通じて、環境経営を推進しSDG sの達成に貢献するとともに、近隣の施設・企業・団体や地域住民の皆様とともに大阪ベイエリアの発展に寄与して参ります。

環境経営方針

<環境経営理念>

大阪ベイエリア咲洲地区で大型複合施設「ATC」を運営する弊社は、本業である不動産賃貸及び管理、催事・展示会の企画及び開催、各種の公共施設の運営を通じて、国連が定めた持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた地球温暖化問題への取り組みを積極的に推進し、持続可能な地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

環境保全への行動指針	達成に寄与する 主なSDG sの番号		
1. ATC行動基準に則り、環境保全と規律維持に努めます。	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 
2. 事業活動を通じて、以下に継続的に取り組み、地球温暖化の緩和と持続可能な社会の構築に貢献します。 (1)二酸化炭素排出削減 (2)廃棄物排出削減 (3)水使用量削減 (4)グリーン調達・グリーン購入の推進	6 安全な水とトイレ を世界中に 	7 安全でクリーンな エネルギー 	12 つくる責任 つかう責任 
	13 気候変動に 具体的な対策を 	15 陸の豊かさも 守ろう 	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 
3. 企業、団体、自治体等と協働で環境や社会問題解決に率先して取り組み、産業を振興することでベイエリアを中心とした地域活性化につなげます。	4 質の高い教育を みんなに 	8 働きがいも 経済成長も 	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 
	11 住み続けられる まちづくりを 	14 海の豊かさを 守ろう 	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 
4. 来館者、取引先、株主、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。	12 つくる責任 つかう責任 	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 	

制定日：2020年9月24日

代表取締役社長 木村 繁

□組織の概要

更新日：2023年6月28日

(1) 名称及び代表者名

アジア太平洋トレードセンター株式会社
代表取締役社長 木村 繁

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市住之江区南港北2丁目1番10号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	専務取締役 伊東 一哉	TEL：06-6615-5000
担当者	総務部 安田夏実	TEL：06-6615-5000

(4) 事業内容

不動産の賃貸及び管理、各種催物、展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

(5) 事業の規模

売上高 62.6 億円（2023年度）

	本	社
従業員	名	58 名
延べ床面積	m ²	336,000 m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：アジア太平洋トレードセンター株式会社

対象事業所：ATCビル

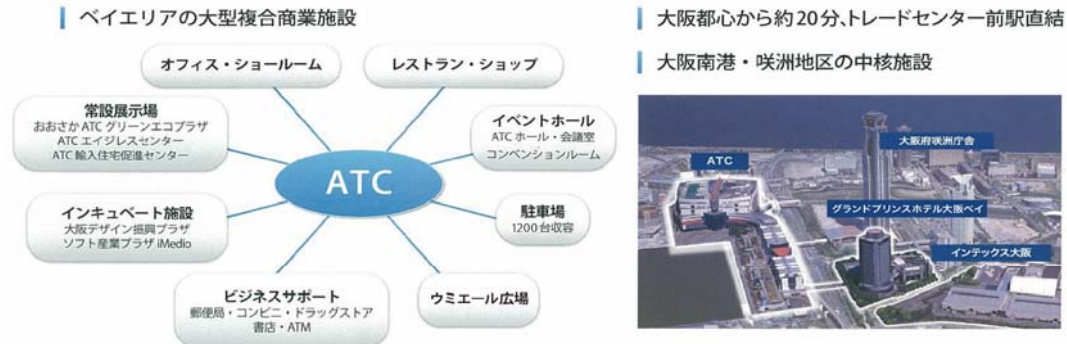
対象外：なし

活動：不動産の賃貸及び管理、各種催物、展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

□「ATCのご紹介」、「ATCの概要」事業や製品(商品)の紹介

主な事業内容：大型複合施設ATCビルの運営・管理

ATCの特色



オフィス・ショールーム <http://www.atc-estate.com>

5坪程度のSOHO事務所からワンフロアで1500坪の広さまで、さまざまなニーズにお応えできます。
行政機関、海外の公的機関、家具の大型ショールーム他、民間企業が入居されています。



- 郵便局・銀行ATM・コンビニ・ドラッグストア等のビジネスサポート施設が入居。
- 大型トラックヤード・荷捌場・大型エレベーター・倉庫・屋内外駐車場を完備。
- 関西圏物流網・交通網の一大拠点、大阪南港ペリエリアという価値ある立地。
- 警備・設備ともに24時間スタッフが常駐。

常設展示場・インキュベート施設 ー大阪市との連携事業ー

 おおさかATCグリーンエコプラザ 日本最大規模の環境ビジネス関連の常設展示場		日本最大規模の環境・福祉・輸入住宅関連の産業振興を目的とした常設展示場やクリエイター・デザイナーの育成支援を行なうインキュベート施設があります。さまざまな関連製品やサービスを紹介する展示のほか、イベント・セミナーを通じてビジネスサポートやビジネスマッチングに取り組んでいます。
 ATCエイジレスセンター 日本最大規模の健康・福祉・介護関連の体験型常設展示場		 大阪デザイン振興プラザ デザイナー向けインキュベーションオフィス及びデザインビジネスの発信拠点
 ATC 輸入住宅促進センター 世界の優れた輸入住宅部材・建材・設備の総合展示場		 ソフト産業プラザ TEQS 先端技術を活用したビジネスのサポート拠点

レストラン・ショップ

営業時間 ショップ/11:00~20:00 フード&レストラン/11:00~22:00

レストラン <http://www.atc-co.com/restaurant>

ベイサイドを望む抜群のロケーションでお食事が楽しめます。
カフェ・居酒屋・ファストフード等、様々なレストランが約30店舗。

ショップ <http://www.atc-co.com/shop>

雑貨・服飾関連を中心とした店舗や大型インテリアショップ、アミューズメント施設のほかキッズウェアなどのショップ。



ウミエール広場

全長450mの海と空に開けたリラックススペース



イベントホール

ATC ホール・コンベンションルーム・会議室

ワンフロアで総面積約7,000㎡の多目的ホール。大小合わせて5つのホール、連動可能な10の会議室によりさまざまなイベントニーズにお応えいたします。 <http://atc-hall.com>

施設概要

- A ホール (2,900㎡:分割時1,600㎡、1,300㎡)
- B ホール (1,130㎡)
- C ホール<ATC ミュージアム> (1,000㎡)
- D ホール (270㎡)
- E ホール (250㎡)
- ATC ギャラリー (250㎡)
- ウミエールキューブ (250㎡)



アクセスマップ

交通案内 ●梅田・本町・心斎橋・なんば方面より

地下鉄中央線「本町」から、コスモスクエア経由で約20分
地下鉄四つ橋線「住之江公園」から約16分
『トレードセンター前』駅直結

●JR大阪・天王寺方面より

環状線「弁天町」から、地下鉄中央線に乗り換え
コスモスクエア経由で約15分



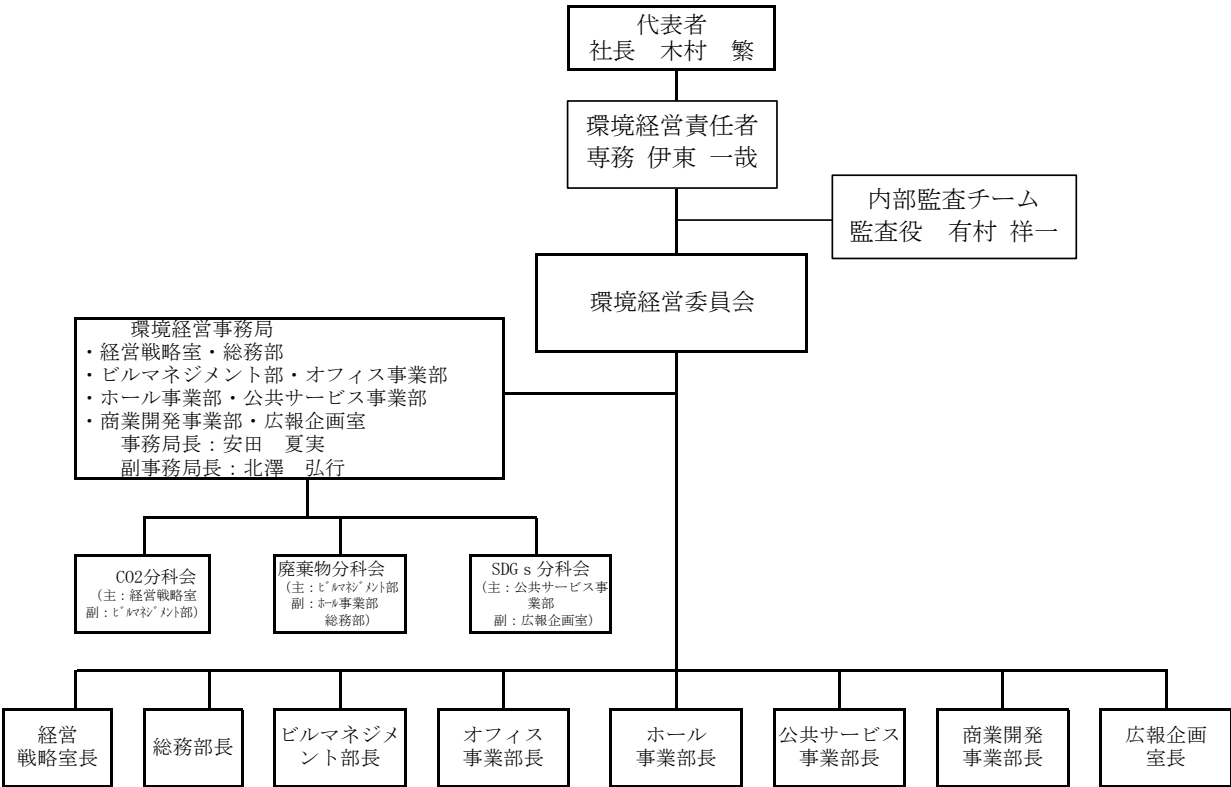
駐車場 駐車料金:200円/30分(2時間以降は150円/30分、平日は最大800円)

アジア太平洋トレードセンター株式会社 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ITM棟 12階

お問い合わせ TEL:06-6615-5000 ホームページ <http://www.atc-co.com>

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年6月24日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境経営責任者(専務)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
内部監査チーム (監査役・総務部)	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
環境経営委員会	・環境経営方針・計画の審議 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境経営事務局 (事務局長は毎年各部門長で持ち回り)	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	9,212,811	8,233,028	8,119,033
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	702,420	591,160	597,400
産業廃棄物排出量	Kg	338,246	80,779	221,026
水使用量	m ³	103,933	87,547	89,950

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数をベースに再エネ率を考慮
再エネ率は2021年度は5%、2022年度からは8%

※冷水、温水、蒸気のCO₂排出係数 0.057t-CO₂/GJ

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (ATCホール除く全館)	kg-CO ₂	5,809,867	4,915,147	4,893,158	○	4,857,049	4,798,950
	基準年度比	2019年	84.6%	84.2%		83.6%	82.6%
	売上高原単位	kWh/千円	3.09	2.61	×	2.58	2.55
電力による二酸化炭素削減 (ATCホール)	kg-CO ₂	134,251	102,031	86,320	○	100,688	99,346
	基準年度比	2019年	76.0%	64.3%		75.0%	74.0%
	稼働率原単位	kWh/日	1,636.33	1,243.61	○	1,227.24	1,210.88
熱供給による二酸化炭素削減 (ATCホール除く全館)	kg-CO ₂	3,171,543	2,838,531	3,065,967	×	2,806,815	2,775,100
	基準年度比	2019年	89.5%	96.7%		88.5%	87.5%
	売上高原単位	GJ/千円	0.0094	0.0084	×	0.0083	0.0082
熱供給による二酸化炭素削減 (ATCホール)	kg-CO ₂	97,151	90,350	73,587	○	89,379	88,407
	基準年度比	2019年	93.0%	75.7%		92.0%	91.0%
	稼働率原単位	GJ/日	6.61	6.14	○	6.07771	6.01164
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	9,212,811	7,946,059	8,119,033		7,663,864	7,574,050
一般廃棄物の削減 (全館)	kg	702,420	533,839	597,400	×	526,815	519,791
	基準年度比	2019年	76.0%	85.0%		75.0%	74.0%
産業廃棄物の削減 (ATCホール除く全館)	kg	305,126	150,122	205,616	×	147,071	144,019
	基準年度比	2019年	49.2%	67.4%		48.2%	47.2%
産業廃棄物の削減 (ATCホール)	kg	33,120	25,569	15,410	○	25,237	24,906
	基準年度比	2019年	77.2%	46.5%		76.2%	75.2%
リサイクルの推進 (リサイクル率)	リサイクル率	37.4%	47.6%	39.8%	×	48.6%	49.6%
	基準年度比	2019年	127%	106%		130.0%	132.7%
コピー用紙削減	枚	644,015	426,338	431,033	×	419,898	413,458
	基準年度比	2019年	66.2%	66.9%		65.2%	64.2%
水道水の削減	m ³	103,933	95,099	89,950	○	94,059	93,020
	基準年度比	2019年	91.5%	86.5%		90.5%	89.5%
グリーン調達・グリーン購入の推進	グリーン購入比率	12.9%	46.0%	59.5%	○	47.0%	48.0%
	基準年度比	2019年	357%	461%		364.3%	372.1%
SDGsの取組と情報発信の強化	行動目標(次項による)						
万博を契機とした産業振興 (ビジネス活動)	行動目標(次項による)						
社会の要請に応じた企業価値向上	行動目標(次項による)						

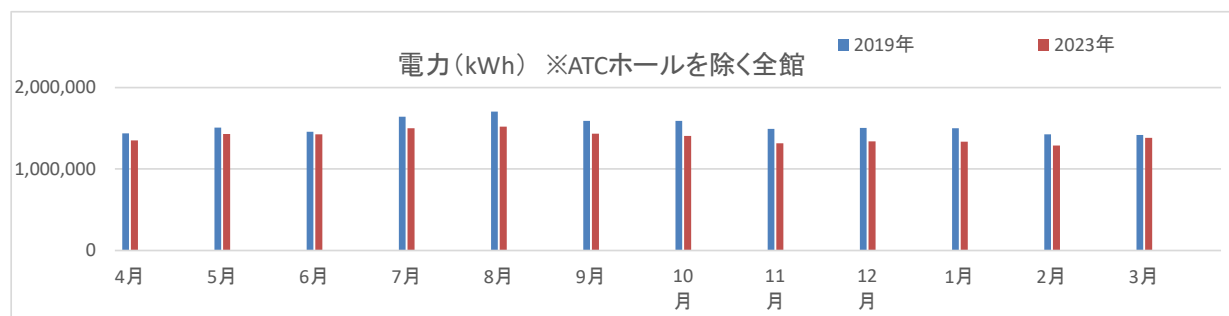
※化学物質は使用していない。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

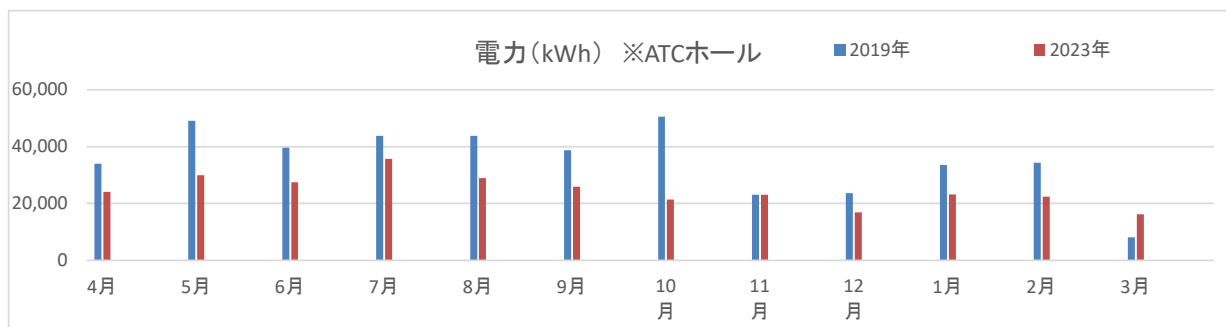
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減(ATCホール除く全館)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
<全社共通>		・2023年度は地球温暖化等による影響により夏場は冷房で、冬場は暖房でともに電力使用量の増加が心配されたが、一方でオフィス専有部分のLED化工事が計画より前倒し実施された影響により電力使用量は抑制されたことで目標達成となった。(目標値84.6%、実績84.2%)
・エスカレーター、階段の利用促進	○	・オフィス専有部LED化工事は5月から開始され年度内の進捗率は94.8%となった。またオフィス専有部LED化工事により照明にかかる電力使用量が計算上実施前の41.4%となる。
・事務所内の室温を夏28度・冬20度推奨	○	・2024年度は再生可能エネルギーの比率を現在の8%から20%にアップさせるとともに、2023年度から実施してきたオフィス専有部分のLED化の残りを実施する。
(POP等設置し節電強化)		
・OA機器や家電製品購入省エネ商品推奨	○	
・PCの電源OFFとスリープモードの時間制限設定	○	
(待機消費電力削減)		
・デスクトップPCからノートPCへの移行	○	
(消費電力約1/4)削減		
<ビルマネジメント部>		
・専有部の天井照明LED化工事の実施(5～3月)	◎	
・共用部の照明点灯箇所・時間の適正化する。	○	
・「環境価値メニュー」を採用し、電力使用量のうち	◎	
8%を「再生可能エネルギー」とする。		
<公共サービス事業部>		
・スポットのLED化推進(IHPC展示場エリアのLED化)	○	
・各公共施設の照明の管理の徹底	○	
<オフィス事業部>		
・テナント専有部LED化の促進。テナントへの協力要請	○	
<広報企画室>		
・ホームページや館内で周知(7月末)	○	



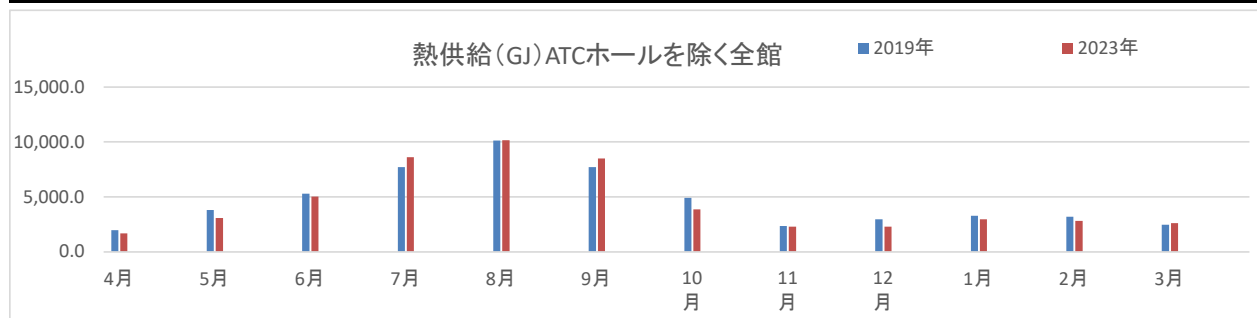
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,437,218	1,506,133	1,457,970	1,641,342	1,705,655	1,589,972	1,591,763	1,491,226	1,505,881	1,500,395	1,426,260	1,416,206
2023年	1,349,505	1,429,006	1,425,200	1,500,839	1,520,367	1,434,978	1,405,779	1,316,604	1,338,791	1,334,829	1,287,451	1,381,967

電力による二酸化炭素削減(ATCホール)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
<ホール事業部>		・ATCホール稼働率が73.7%となり、コロナ前の基準年度を上回る水準(2019年度稼働率70.5%)となったが、照明のLED化の効果などもあり電力使用量を抑制できたことなどで目標達成することができた。(目標値76.0%、実績69.9%)
自主催事による再エネの導入	○	・2024年度はATCホールの改修工事により休館期間があるがイベント主催者と一緒になって削減に努めていく。
⇒実績をつくり1つのパッケージプランを策定する		
(継続:太陽光発電ネットワークとの関係)		



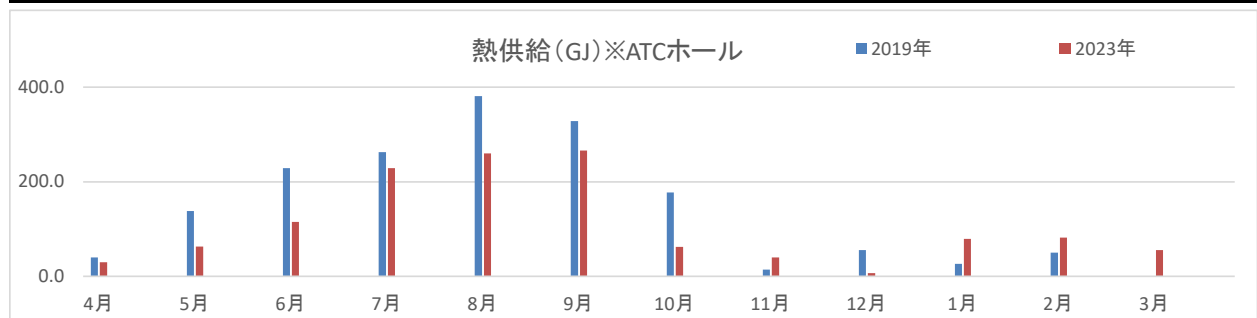
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	33,961	49,105	39,592	43,767	43,829	38,717	50,526	23,101	23,628	33,576	34,301	8,069
2023年	24,046	29,935	27,511	35,656	28,874	25,897	21,378	23,086	16,909	23,183	22,419	16,157

熱供給による二酸化炭素削減(ATCホール除く全館)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達成
<全社共通>		・地球温暖化等による気温上昇により夏場は冷房による空調使用量は増加し、一方冬場は気温低下により暖房による空調使用量が増加し、年間を通して空調使用量が増加したことから目標未達となった。(目標値89.5%、実績96.7%)
・事務所内の室温を夏28度・冬20度推奨 (POP等設置し節電強化)	○	・2024年度は地球温暖化等による夏の暑さと冬の寒さが続く見込まれる中で、入居テナントに空調利用による室内環境の快適さを提供していくことを予定しているが、より効率的な空調運転を心がけていく。
・プラスチック製品の購入削減	○	
<ビルマネジメント部>		
・デマンドコントロールしながら、効率の良い空調運転を行う。	○	
・催事搬出入時等、北エントランス大扉を開けっ放しにしないよう、ルール作り、注意喚起を行う。	○	
<公共サービス事業部>		
・各公共施設の空調の管理の徹底	○	
<オフィス事業部>		
・啓発ステッカーの配布、テナントへの協力要請	○	
<広報企画室>		
・ホームページをや館内で周知(7月末)	○	



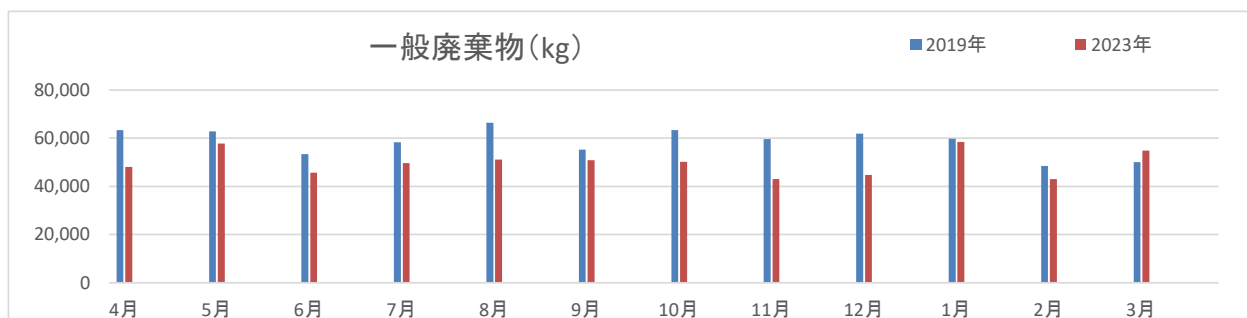
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,963.4	3,797.0	5,292.5	7,699.3	10,109.6	7,701.9	4,894.6	2,327.1	2,947.4	3,260.5	3,182.2	2,465.6
2023年	1,663.4	3,056.9	5,018.2	8,608.0	10,132.1	8,496.4	3,863.4	2,289.9	2,281.2	2,961.3	2,818.9	2,599.2

熱供給による二酸化炭素削減(ATCホール)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
<ホール事業部>		・今期は夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響があったものの、イベント主催者と一緒になって空調運転の効率化に努めたことで空調使用量を抑制できたことから目標達成となった。(目標値93.0%、実績75.7%)
・利用者へ空調の適正温度の呼びかけ	○	・2024年度はATCホールの改修工事により休館期間があるがイベント主催者と一緒になって削減に努めていく。
・協力会社への節電の要請	○	
⇒継続		



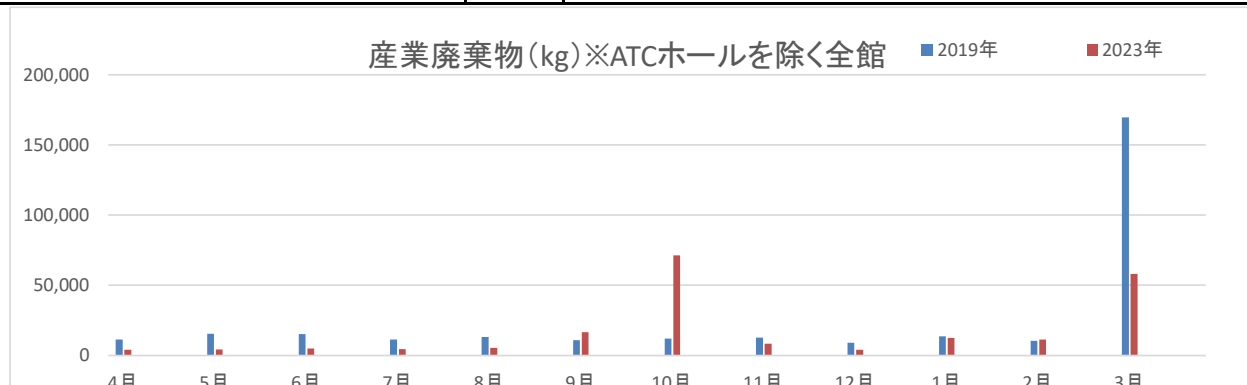
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	40.2	138.4	228.5	262.6	380.5	328.1	177.2	14.6	55.6	26.8	50.6	1.3
2023年	30.3	63.5	115.2	228.6	259.6	266.0	62.9	40.6	6.9	79.3	82.1	56.0

一般廃棄物の削減(全館)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達成
<全社共通>		・今年度はオフィス入居率のアップや商業店舗において来客増になっており、それに伴い入居テナントから出される一般廃棄物はほとんどの月で増加しており年度累計において目標未達となった。
・名刺管理アプリの活用	○	(目標76.0% 実績85.0%)
・資料等なるべく紙で保管せず、PDF等データで保管する	○	・また2021年度途中から始めたATCホールからの廃棄物の一部を分別推進により一般廃棄物として処理することにしたことも一般廃棄物量増加に少なからず影響した。(+24,802kg、+4.3%)
<総務部>		・商業開発事業部が2022年度から開始した生ごみ削減の取り組みにおいて優秀店舗の表彰を行った。
・ATC事務所のゴミの量の削減	○	・プラスチックごみ分別の実証実験を2024年3月からスタートし4月以降はITM棟全体に拡大した。
・なるべく使い捨て商品を購入しない	○	・2024年度は入居テナントにおける業務増加等によりさらに一般廃棄物の発生増が予想されるができるだけ削減できるよう努めていく。
<ビルマネジメント部>		
・分別方法の徹底による再資源化の推進	◎	
(社内・テナントへの周知およびゴミ庫の配置等工夫)		
・種類別排出量の把握	○	
<商業開発事業部>		
・生ごみ削減に向けた取組み	◎	
昨年度から飲食店の生ごみ計量中		
新基準は、4月1日から実施		
・使い捨てプラスチック削減の取り組み	◎	
対象店に使用品名と具体的な削減内容の提出		



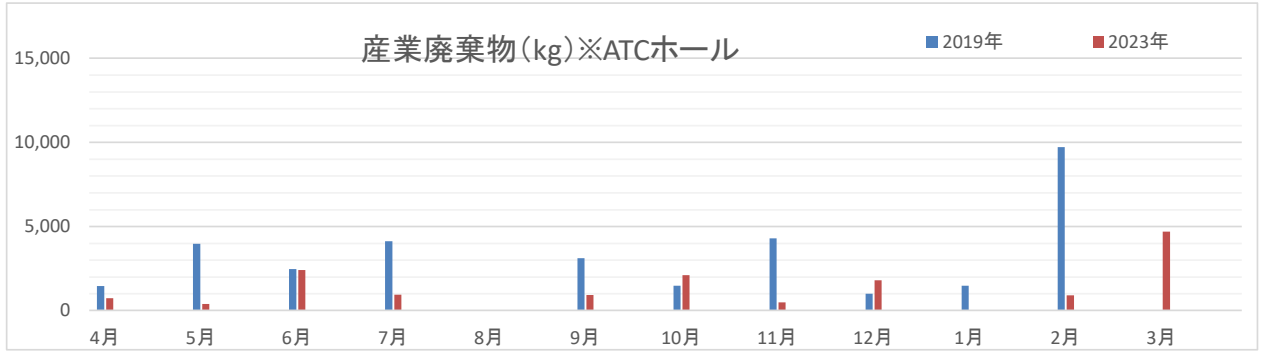
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	63,350	62,820	53,320	58,320	66,350	55,200	63,310	59,660	61,840	59,710	48,530	50,010
2023年	48,010	57,780	45,670	49,650	51,110	50,860	50,230	43,020	44,720	58,420	43,060	54,870

産業廃棄物の削減(ATCホール除く全館)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達成
<ビルマネジメント部>		・2020年度から始めた産業廃棄物処理方法の変更は入居テナントにほぼ浸透したが、2023度は期中において新規テナント入居のためのレンタル面積確保のための大量の産業廃棄物処理や入居テナントから発生した大量の産業廃棄物処理を複数回にわたって実施したことから目標未達成となった。
・テナントの産廃は各自で適正に処分してもらう。	○	(目標49.2%、実績67.4%)
・種類別排出量の把握	○	・2024年度はプラスチックごみの分別強化をITM棟全体に広げて実施していく。
・電子マニフェストを導入することにより、法令順守の徹底、データの透明性確保を図る。	◎	
<オフィス事業部>		
・テナントへの産業廃棄物削減、および分別の協力要請	○	



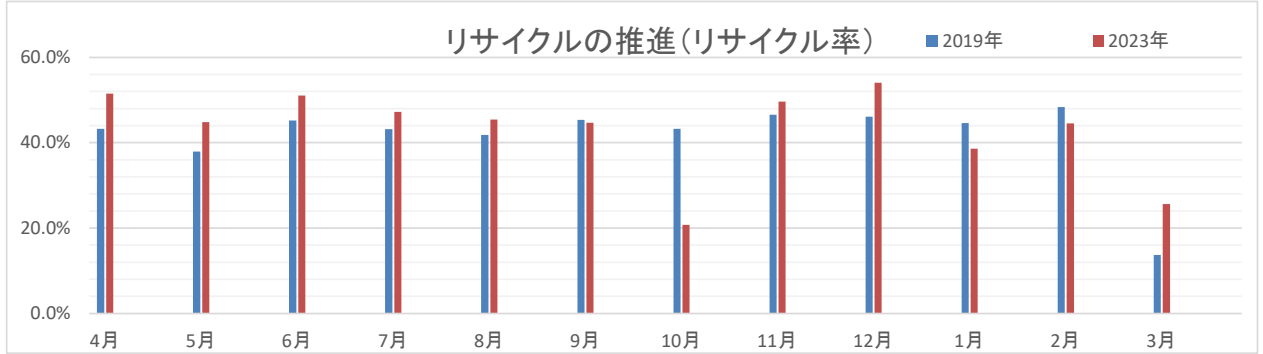
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	11,333	15,543	15,233	11,413	13,093	10,863	12,103	12,653	9,003	13,653	10,493	169,743
2023年	3,980	4,277	4,862	4,534	5,457	16,601	71,340	8,425	3,971	12,547	11,440	58,182

産業廃棄物の削減(ATCホール)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
<ホール事業部>		・今年度のATCホールの稼働日(261日)は基準年度(258日)を上回る水準となった中で、イベントから発生するダンボール、ペットボトルなどの分別できる廃棄物を計量して「見える化」することでイベント主催者と一体となって廃棄物削減に取り組むことで全体の廃棄物削減を行った。(目標77.2% 実績46.5%)
計測による数値の見える化	○	・2024年度はATCホールの改修工事により休館期間があるがイベント主催者と一緒になってさらに廃棄物削減を推進していく。
⇒今年度は基礎を積んで、次年度に繋げる		



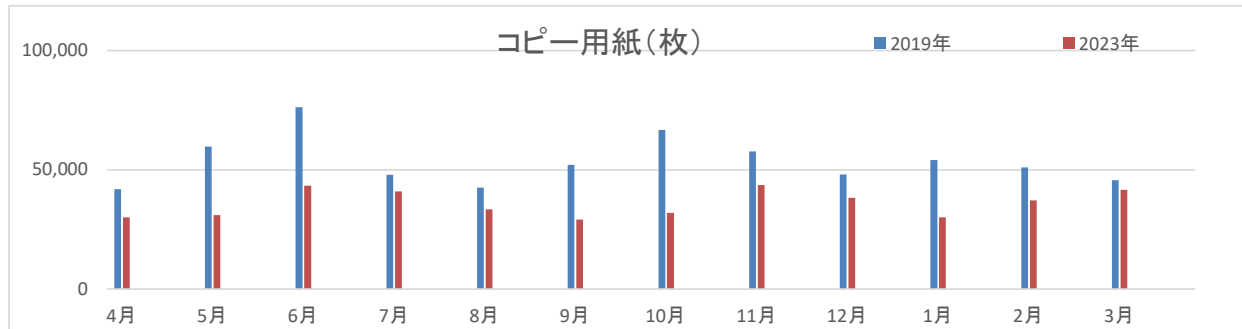
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,460	3,980	2,460	4,120	0	3,110	1,480	4,290	1,010	1,480	9,730	0
2023年	740	400	2,410	940	0	930	2,110	480	1,810	0	900	4,690

リサイクルの推進(リサイクル率)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達成
<ビルメンテナンス部>		・2023年度は期中においてテナントの新規入居に伴うレンタルスペース確保のための産業廃棄物処理を複数回にわたって実施したことから目標未達成となった。(目標47.6%、実績39.8%)
・リサイクルを得意とする処理業者を活用する。	○	・2024年度はリサイクル率の目標達成を目指す。
・分別方法を徹底する(社内・テナントへの周知)	○	
・今年度は特に、一般ごみ扱いとしていたプラスチックごみを分別し、サマールサイクル処理を行う。	○	
<ホール事業部>		
段ボールなど産廃としていたものを当社にて処理することでリサイクル率UPを目指す(継続)	○	



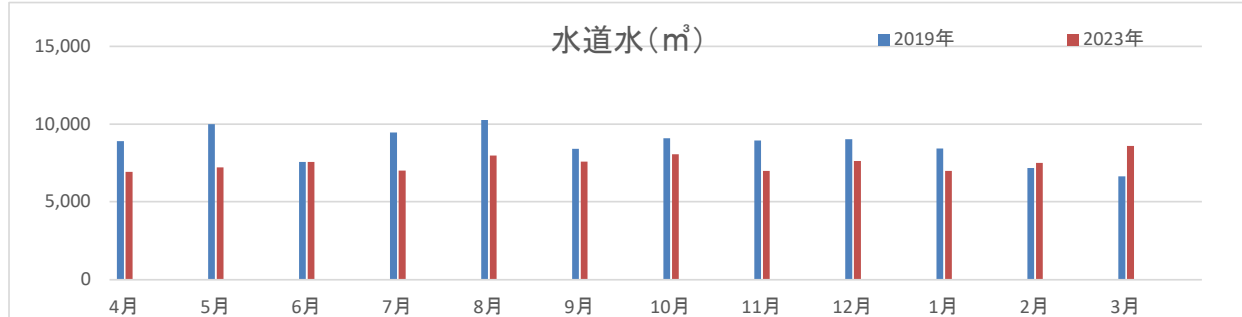
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	43.3%	37.9%	45.2%	43.1%	41.9%	45.3%	43.2%	46.5%	46.1%	44.6%	48.3%	13.7%
2023年	51.5%	44.9%	51.1%	47.2%	45.5%	44.7%	20.8%	49.6%	54.1%	38.6%	44.5%	25.6%

コピー用紙削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達成
＜全社共通＞		・稟議書の電子化、会議のペーパーレス化、社員へのタブレット端末の普及などにより社内のペーパーレス化が進んでいるが、一方でコロナ5類化や万博関連業務による多忙により各部の業務量が多くなっており、それに連動してコピー用紙使用量は増加し目標未達成となった。（目標66.2% 実績66.9%）
・オンライン名刺の活用	○	
・資料等なるべく紙で保管せず、PDF等データで保管する	○	
＜総務部＞		・2024年度は契約書の電子化によりペーパーレス化を一層すすめることなどを検討していく。
・申請書類の電子化とそれに伴うクラウドストレージの拡充	○	



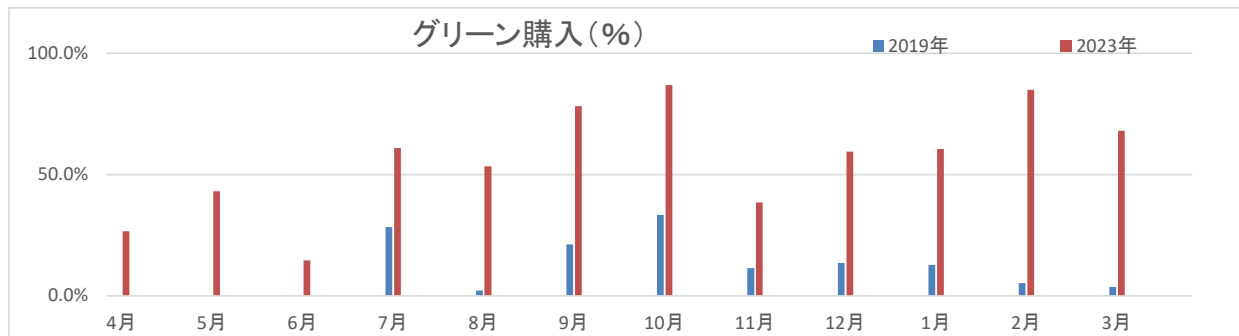
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	41,861	59,779	76,265	47,928	42,580	52,029	66,777	57,793	48,052	54,160	51,083	45,708
2023年	30,143	31,055	43,347	41,015	33,433	29,176	31,975	43,690	38,279	30,021	37,241	41,658

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
＜ビルマネジメント部＞		・女子トイレ個室に擬音装置の設置とタッチレス式自動水洗浄装置の設置を行った。
・トイレ更新工事の実施	○	・トイレにおいて節水対応の更新工事を実施したことなどにより水道水使用量は削減となり目標達成した。（目標91.5% 実績86.5%）
・トイレ個室内にタッチレス式自動水洗浄装置、擬音装置の設置	○	・2024年度は万博関連等で入居テナント増や来館者の増加を見込まれるが水道水の削減に努める。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	8,891	9,998	7,556	9,479	10,284	8,407	9,102	8,953	9,040	8,429	7,168	6,626
2023年	6,919	7,206	7,562	6,998	7,969	7,578	8,049	6,985	7,617	6,988	7,493	8,586

グリーン調達・グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成
＜全社共通＞		・グリーン調達、グリーン購入については目標は46.0%であったが、実績は59.5%となり目標達成することができた。
・事務用品、備品はグリーン購入適合商品を優先して購入する（一部制限）	○	理由としては7月ころから総務部が事務用品などの発注に際して原則グリーン購入対象商品を選ぶことが全社的に浸透したことによる。
・一時的な利用はレンタルを検討する	○	・2024年度も引き続きグリーン購入対象商品の購入に努める。
＜総務部＞		
・リサイクルペーパーの使用（コピー用紙、名刺等）	○	
・電子機器類は可能な限り修理して長く使う	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	0.0%	0.0%	0.0%	28.3%	2.2%	21.1%	33.3%	11.4%	13.6%	12.7%	5.2%	3.6%
2023年	26.6%	43.1%	14.6%	60.9%	53.3%	78.2%	86.9%	38.5%	59.5%	60.5%	84.9%	68.1%

SDGsの取組と情報発信の強化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	・公益財団法人 大阪観光局 MICE推進部の『SDGs for MICE評価制度』に化石ハンター展が取り組みを宣言した。
＜広報企画室＞		・地域交流イベントとして「サキシマmeets!」を開催した。
・地域連携イベントの誘致および開催	○	・10月開催の「咲洲こどもEXPO2023」においてSDGsをテーマの1つとして開催した。
・青空イロマーケット（本やおもちゃの交換など）、咲洲こどもEXPO	○	・エコプラザセミナーではSDGsをテーマにしたものを多数開催し情報発信を行った。
・SNSを利用した発信	○	・SDGsラリーの質問項目で環境問題に関するクイズを出題することで社員等の環境意識を高めた。
・館内案内サインのデジタルサイネージ化（総合案内所横3月末）	○	・「環境経営レポート2022」を作成し、WEBでの公開とステークホルダー等に冊子配布を行った。
＜公共サービス事業部＞		・ATC社員等で階段避難体験訓練を実施した。
・公共4施設の事業を通じたSDGsの取組と情報発信	○	・2024年度も環境経営を経営方針に取り入れSDGsを意識した会社運営を行う。
・SDGsラリーの実施対象者を業務委託者に広げる	○	
・ATCの取り組みに応じたテナントへの情報発信	○	
＜ホール事業部＞		
・MICE評価制度のブラッシュアップを観光局と行っていく	○	
・HALLの取り組みをHPへアップ	○	
（環境経営レポートも）		

万博を契機とした産業振興（ビジネス活動）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
＜公共サービス事業部、広報企画室＞		・4月に「ATC OSAKA MIRAI EXPO」、11月に万博500日前イベントとして「TEAM EXPO 2025 自然・環境セッション」を開催した。
・万博（Society5.0、SDGs）をキーワードにプロジェクト創出と企業誘致促進	◎	・名刺に万博ロゴを入れることで社外に万博に対するアピールを行った。
		・社内に万博営業担当を配置した。
・咲洲プレ万博を活用した取り組みと地域活性化	○	・万博関連企業がオフィス区画に多数入居した。
・公共サービス事業部4施設事業による産業振興	○	・エコプラザにおいて万博機運醸成のためのセミナーを多数開催した。
		・2024年度は万博開催まで1年を切ることから活動をさらに活発化していく。

社会の要請に応じた企業価値向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
＜公共サービス事業部、広報企画室＞		・次期中期経営計画策定にあたり、提案プロジェクトチームが結成され、とりまとめ案が社内発表された。
・サイボウズを活用したニュースの共有	△	・ATCビルが大阪市の令和5年度「ごみ減量優良建築物」に選定される。
・エコアクションの取り組みの社内外への発信	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	一般廃棄物、産業廃棄物
ビル管法	ATCビル(特定建築物)
省エネ法	エネルギー使用量原油換算1500KL以上/年、当社は省エネ法上の「特定事業者」です。
地球温暖化対策推進法	当社は地球温暖化対策推進法上の「特定事業所」です。
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
消防法(危険物)	危険物の保管
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

特になし

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 南海トラフ、住之江区で地震が発生し、館内で火災、負傷者が発生、初動対応後、津波が来襲	
■実施日： 2023年6月30日	■実施場所 ATCビル
■参加者： ATCビル、テナントの従業員	
■実施内容： ☒通報訓練 ☒消火訓練 ☒避難訓練 震源地が和歌山県串本沖(南海トラフ)、住之江区で震度6弱の地震が発生し、「津波警報」が発令された。館内では、火災と負傷者が発生し、エレベーターは地震、火災等により使用できないとの想定。 各テナント・事業所で初動対応措置訓練(地区隊の行動確認)を行った後、非常放送の「津波避難開始」に従って、3階以下階のテナント・事業所は、避難誘導班の指示により避難階段を使い、4階以上階の共用部へ津波避難訓練を実施する。 4階以上のテナント・事業所は、自社区画内で待機。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	 

緊急事態の想定： 大阪府北部、住之江区で地震が発生し、館内で什物の転倒、天井、ガラスの落下、火災、負傷者が発生	
■実施日： 2023年11月24日	■実施場所 ATCビル
■参加者： ATCビル、テナントの従業員	
■実施内容： ☒通報訓練 ☐消火訓練 ☐避難訓練 震源地が大阪府北部、住之江区で震度6弱の地震が発生し、今回は津波警報対応はなし。火災避難訓練とします。 館内で火災と負傷者が発生し、エレベーターは地震、火災等により使用できないとの想定。 各テナント・事業所で初動対応措置訓練(地区隊の行動確認)を行った後、非常放送の「火災発生避難開始」に従って、全館のテナント・事業所は、自社の避難誘導班の指示により避難階段を使い、2階セントラルアトリウムへ避難訓練を実施する。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	 

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月28日

【目標・環境計画の達成状況】(詳細は環境経営目標及びその実績のとおり)			
項目	目標値達成状況	目標値達成状況(原単位)	コメント
電力による二酸化炭素削減(ATCホール除く全館)	○	×	オフィス専有部LED化の前倒し実施や空調の効率運転により使用量は目標達成したが、原単位は目標未達成となった。2024年度は再生可能エネルギーの比率を8%から20%にアップさせる。
電力による二酸化炭素削減(ATCホール)	○	○	稼働率が基準年とほぼ同程度に回復した中で、イベント主催者と一体になって照明や空調などでの電気使用量を抑制できたことから使用量、原単位とも目標達成となった。
熱供給による二酸化炭素削減(ATCホール除く全館)	×	×	地球温暖化等による夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響が大きく、ビル管理会社と一体となって空調運転の効率化による空調利用量の抑制に努めたが使用量、原単位とも目標未達成となった。
熱供給による二酸化炭素削減(ATCホール)	○	○	地球温暖化等による夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響があったものの、イベント主催者と一体になって空調運転の効率化に努めたことで空調使用量を抑制できたことから使用量、原単位とも目標達成となった。
一般廃棄物の削減(全館)	×	-	コロナの5類化による経済活性化と万博関連での新規テナント入居や来館者が増加しており、それに伴い一般廃棄物量も増加し目標未達成となった。
産業廃棄物の削減(ATCホール除く全館)	×	-	新規テナント入居のためのレンタル面積確保のための大量の産業廃棄物処理を複数回にわたって実施したことから目標未達成となった。
産業廃棄物の削減(ATCホール)	○	-	イベントから発生する廃棄物の「見える化」することによりイベント主催者と一致となって廃棄物削減に努めた。
リサイクルの推進(リサイクル率)	×	-	新規入居のためのスペース確保のため産廃処理を複数回にわたって実施したことにより目標未達成となった。
コピー用紙削減	×	-	2023年5月からのコロナ5類化や万博関連業務による多忙により各部の業務量が多くなっており、それに連動してコピー用紙使用量は増加し目標未達成となった。
水道水の削減	○	-	トイレにおいて節水対応の更新工事を実施したことなどにより水道水使用量は削減となり目標達成した。
グリーン調達・グリーン購入の推進	○	-	総務部が事務用品などの発注に際して原則グリーン購入対象商品を選ぶことが全社的に浸透したことで目標達成した。
SDGsの取組みと情報発信	-	-	「環境経営レポート2022」を作成し、WEBでの公開と冊子の配布を行った。
万博を契機とした産業振興	-	-	大阪・関西万博 2年前及び500 日前イベントを開催。名刺に万博ロゴを入れることで社外にPRした。
社会の要請に応じた企業価値向上	-	-	次期中期経営計画策定にあたり、提案プロジェクトチームによるとりまとめ案が作成された。
当社は、エコアクション21を活用して環境経営を推進していますが、2017年から開始した専有部のLED更新は、2024年3月末で進捗率が95.6%となりました。エネルギーの国際価格が急騰する中で、環境負荷軽減を図りながら経費削減にもつながりました。また、あわせて2024年度からは再エネ比率を20%に拡大することができました。			
大阪・関西万博の開幕まで1年を切りましたが、当社では立地面でのアドバンテージを活かし、万博関連の工事関連会社や海外の運営会社等の入居が進み、館において万博の機運が高まってまいりました。一方、入居率が上がることで一般ごみの排出量が増加してきており、2023年度はプラスチック分別推進強化の取り組みを始めましたが、まだまだ工夫が必要な状況です。			
また、当社は大阪・関西万博の一時避難場所に指定されています。今年1月1日の能登半島地震は記憶に新しいですが、中期経営計画の重点課題の一つでもある「安心安全で快適な空間づくり」の対策として、本年度も防災対策に努めました。エレベーター内閉じ込め事故発生時に備えて防災キャビネットをエレベーターに設置するなど、災害レジリエンス対策を施し、持続可能な経営を推進しています。			
代表取締役社長 木村 繁			

- 環境経営方針
- 環境経営目標・計画
- 実施体制他
- 変更なし

■ 変更なし

■ 変更なし

□ 変更あり

□ 変更あり

□ 変更あり
- 実績を踏まえて見直すこと

□ATCの環境・社会活動について

ATCでは事業活動を通して環境や社会視点で情報発信しています。エコアクション21の活動を通して、環境経営方針に基づく取り組みをテーマごとに社内活動や対外活動を紹介します。

□ATCの環境・社会活動について

ATCでは事業活動を通して環境や社会視点で情報発信しています。エコアクション21の活動を通して、環境経営方針に基づく取り組みをテーマごとに社内活動や対外活動を紹介します。

環境経営方針に基づく取り組み

環境経営事務局

エコアクション21関連社内会議

環境経営委員会	2023年6月8日・11月29日 …… 数値や取組みの報告を行う。
環境経営事務局会議	毎月第3金曜日 …… 4つの分野に関連する各部の取組みについて数値や取組みの報告と意見交換を行う

〈各取組に達成に寄与する主なSDGs番号を記載しています〉

SDGsラリーの実施

コブラザの出展者でもある大栄環境株式会社様の取組み「2500人の環境ラリー」をベースにした、社員が「SDGsを自分ごとにするための企画」「SDGsラリーを実施。」「節水する」「レジ袋を断る」など気軽に取り組める環境活動をポイント化しSDGsの各ゴールと関連付けている。



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境活動																	
社会活動																	
経済活動																	
文化活動																	
スポーツ活動																	
その他																	

日付 2023.4

担当部署 環境経営事務局

環境経営方針に基づく取組み

CO2分科会

冷水契約容量（デマンド）抑制

2023年度より燃料費調整制度導入に伴い、約20%アップとなるが、冷水の契約容量（デマンド）を41,475MJ/h⇒39,243MJ/hに減らせたため、18%アップ程度に抑えられる見込み。



日付 2023.4

担当部署 ビルマネジメント部

燃料費調整制度導入の影響を受け光熱費アップ

2023年度より燃料費調整制度導入の影響を受け、電気料金前年同月比117%、熱料金前年同月比112%となる。



日付 2023.5

担当部署 ビルマネジメント部

環境系法令届出・報告

- 6月 エネルギー消費統計調査票（経済産業省 資源エネルギー庁）【統計法】
- 7月 エネルギー使用に関する「定期報告書」および「中長期計画書」（近畿経済産業省 資源エネルギー環境部）【省エネ法】
- 8月 エネルギー使用に関する「実施報告書」（大阪府知事）【温対法】
- 9月 エネルギー使用に関する「対策計画書」（大阪府知事）【温対法】



●2023年4月～省エネ法改正の概要

化石エネルギーのみならず、すべてのエネルギーの使用の合理化が求められる。
非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画書等の提出が必要となる。
電気の需要の最適化に関する取り組みが求められる（DRを実施した日数の報告）

日付 2023.6～9

担当部署 ビルマネジメント部

オフィス専有部LED化第2期工事開始

第2期工事スタート。順次3階、9階他専有部をLED化。



日付 2023.5.22

担当部署 ビルマネジメント部

LED照明化工事【0期～2期施工進捗率】

期	ITM棟	
0期 (2017年～2022年上期)	3・4・5・7・9・10・11・12階	9,135 台
1期 (2022年10月～2023年3月)	ITM棟3・7・8・12階	4,801 台
2期 (2023年6月～2024年3月末)	O's棟 4・5・6階	8,259 台
2.5期 (2023年10月～2024年3月末)	ITM棟5・6・10・11階	2,216 台
2.7期 (2024年2月～3月)	O's棟5階	60 台

専有部全体で25,590台→2024年3月末現在の進捗率95.6% 合計 24,471 台

女子トイレに擬音装置、自動水栓装置等設置

- ・女子トイレ個室に擬音（流水音）装置163台設置⇒節水
- ・タッチレス式自動水洗浄装置236台設置⇒衛生・節水
- ・既存フラッシュバルブ12台/回⇒小6台/回、大10台/回



担当部署 ビルマネジメント部

環境系法令届出

地下水採取量報告書提出（大阪府知事宛）【生活環境の保全に関する条例】

井戸4基 2005年12月20日地下水採取開始～2008年3月27日休止

日付 2024.1



再エネ比率20%へ

関西電力との2024年度の電力需給契約を非化石電源比率20%で締結（2023年度は8%）



日付 2024.3

タイムズカーシェア設置

4月10日～北口ゲート付近の新設屋外駐車場にタイムズカーシェア2台。シェアリングによる資源の有効活用を促す。



日付 2024.4～



環境経営方針に基づく取組み

廃棄物分科会

ATCホール一般廃棄物のデータ化

ATCホールの展示会等から排出される一般廃棄物（ダンボール、ビンカンペット、可燃ごみ等）をデータ化

日付 2023.4

担当部署 ホール事業部



ペットボトルキャップリサイクル

館内で排出したペットボトルキャップをリサイクル推進協議会に寄付。

日付 2023.5.11

担当部署 ビルマネジメント部



令和5年度の「ごみ減量優良建築物」に決定

6回優良建築物認定されたため、市長表彰対象のはずでしたが、残念ながら昨年ルールが変更され、大阪市の外郭団体は優良建築物も表彰も対象外となったそうで、優良建築物認定（決定通知文）のみとなっております。

日付 2023.10.26

担当部署 ビルマネジメント部



プラごみ分別実証実験：3月4日～スタート

汚れているとリサイクルできないため、ITM棟12F北東、9F北西休憩室に弁当箱、カップ類容器等を水洗いしてから捨てる専用ごみ箱を設置。⇒4/8～ITM棟全館へ展開（ごみ庫の壁紙色分けも全館完了）

日付 2024.3～



環境経営方針に基づく取組み

防災

自衛消防訓練

和歌山県沖を震源とする大規模地震発生、津波警報発令の想定で実施。

日付 2023.6.30 担当部署 ビルマネジメント部

オフィスのレイアウト変更

地震対策として、書類を整理し、事務所のハイキャビネットを一部撤去。

日付 2023 担当部署 総務

階段避難体験訓練

避難階段への経路と避難階(2階又は1階)に至る場所の確認及び避難階段を実際に降下していただく体験訓練。有事の際に支障なく避難階である地上階に避難できるようにすることを目的としている。

2023.9.1(金) 全体朝礼終了後～11時ごろまで(階段記号AS1～AS6)

2023.10.2(月) 全体朝礼終了後～11時ごろまで(階段記号AE1～AE7)

対象者:ITM棟9階以上に勤務するATC社員全員

日付 2023.9.12、10.2 担当部署 ビルマネジメント部



住之江自衛消防技術練成会「屋内消火栓操法の部」優勝

住之江自衛消防協議会(事務局:住之江消防署)が、住之江区内に在籍する自衛消防組織を有する企業が日頃培った消防技術を競うとともに、防火意識の高揚を図ることを目的として開催している「住之江区自衛消防技術練成会」の「屋内消火栓操法の部」においてATCのチームが優勝しました。



日付 2023.10.16

エレベーター内に閉じ込め事故発生時に備えて 防災キャビネットを設置

お客様利用の多いエレベーター内に防災キャビネットを設置。

※備品内容:手回し充電ライト・アルミブランケット・救急用品セット・ケミカルライト・非常用飲料水・非常用食料・袋式トイレ自立タイプ・ポンチョ・救助笛・プラスチック扇子・ポケットティッシュ

※設置エレベーター: 7～10号機、15・16号機、22号機、24～26号機、28・29号機、31～34号機、36・37号機

日付 2023



防災管理体制の明確化

1月1日16:10 令和6年能登半島地震発生。ATC館内でもエレベーター1基停止、一部壁クラック等発生したもの大きな混乱なし。これをうけ、休日・夜間等の防火・防災管理体制を明確化(休日館長が自衛消防本部長とする)。ATC館内、震度3以下でも揺れを感じる地震発生時、館内業務放送実施。

日付 2024.1

環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

シェアサイクルステーションの設置

ATCビルにシェアサイクルステーションを設置し、テナントや来館者への新たな移動オプションの提供、地域コミュニティへの貢献度を高めることを目指す。

【日付】 2023.4



万博工事関係者輸送のためのバス停の確保を誘導業務の請負い

万博工事が佳境に差し掛かり、工事関係者の輸送手段の確保のため、O's陣ロータリーを提供し、お客様の安全のため同場所の誘導業務を請負っている。

【日付】 2023.6.1～

ATC運営会社ホームページに、サステナビリティページを追加

ATC運営会社ホームページに、サステナビリティページを追加。

- ・環境における取り組み
- ・人材育成と働きやすい職場づくりのための取り組み
- ・地域との取り組み
- ・コンプライアンス・リスクマネジメントの推進における取り組み
- ・若手・中堅社員が考える「2030ATCのありたい姿」

【日付】 2023.7



次期中期経営計画提案プロジェクト

次期中期経営計画に中堅、若手社員が意向を提案できる機会を創出するためのプロジェクト。メンバーはプロジェクトの趣旨から議論を決めることができるよう経営会議が推薦した6名に限定。

【日付】 2023.8～2024.1



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

第11回咲洲こどもEXPO2023

今年のテーマは【未来を想像しよう】

子どもたちが、新しい世界に触れたり、好きなことをへの興味をさらに深める機会となるプログラムを集めた。会場の規模を拡大して、過去最多の63のプログラムを実施。



日付 2023.10.28・29

第31回大阪港カッターレース

万博に向けた実証実験としてドローンショーを主催者と協同で実施。

日付 2023.11.3



大和川・石川クリーン作戦参加

拾ったごみの一部は、4/13の万博1年前イベントや5月3日のごみ祭りで使用

日付 2024.3.3 担当部署 総務部



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

健康経営優良法人認定

2023年3月取得。健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度。

日付| 2024.4

担当部署| 総務部

「大阪ベイエリアMICE」4施設における 包括的連携協定を締結

2025年大阪・関西万博の開催、IR開業を見据えて「大阪ベイエリアMICE」4施設（インテックス大阪、グランドプリンスホテル大阪ベイ、ATCホール、ホテルフクラシア大阪ベイ）における包括的連携協定を締結。同エリアへの国際会議や大規模展示会の誘致、主催者支援およびSDGsの取組み強化を目的としている。

EXPO 2025 OFFICIAL STORE オープン

開幕1年前に合わせO'sビル北館にオープンし、賑わいをみせている。



日付| 2024.4.13～2025.10.13

『まいど!大阪EXPOプログラム』に参加

大阪観光局が日本旅行と協力して開発した新しい旅行プラン『まいど!大阪EXPOプログラム』に『万博エバンジェリストプログラム』として参加。EMIELD株式会社の社会起業家を講師に招き、日本を代表する総合商社・伊藤忠商事の企業理念「三方よし」の考え方を軸に社会課題の解決アイデアを考えるプログラムを実施。



日付| 2024.5～2025.10

【ごみ祭りpresents ATC MUSIC EXPO】

※大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー中島さち子氏 プロジェクト

ごみアートコンテスト開催! 2025年の大阪・関西万博に向けて人間たちとごみたちが大きく動き出す!

会場: ①咲洲モリーナ (西尾レントオール) ②ATC海辺のステージ



日付| 2024.5.3

環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会

食育推進全国大会は、食育について、国民への直接的な理解促進を図り、関係者相互の連携を促進するため、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する6月の「食育月間」における中核的な行事として、国と都道府県等との共催によって開催される全国規模のイベント。本イベントはSDGs for MICE認定を取得。

日付 2024.6.1・2



大阪府介護生産性向上支援センターが エイジレスセンターに開設

「大阪府介護生産性向上支援センター」を、介護現場における生産性向上や人材確保の取り組みを推進することを目的に、生産性向上や人材確保に関するワンストップ窓口として6/5〜エイジレスセンターに開設。



日付 2024.6.5



第7回サキシマベイエリア クリーンアップ大作戦

コスモスクエア開発協議会とサキシマmeetsおそうじ委員会が企画し、春の海ごみゼロウィーク(5月30日〜6月9日)にあわせたスペシャル清掃活動「第7回サキシマベイエリア クリーンアップ大作戦」を開催。

日付 2024.6.6



万博機運醸成イベント

「あてんフェスInてんしば」に出展

場所:天王寺公園てんしば (天王寺動物園・慶沢園入場口付近)

日付 2024.6.15〜17



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

咲洲プレ万博公式プログラム

アバターまつり（咲洲プレ万博公式プログラム）

国のムーンショット型研究開発事業における「アバター共生社会」の実現をめざすための研究開発の取組で、本実証実験を通じて、一般来場者に「アバター共生社会」を疑似体験してもらい、社会受容性の調査を行うとともに、体験者からのフィードバックを得ることを目的として実施。

サイバネティック・アバター（略称：CA、遠隔操作ができるロボットアバターやCGアバター）合計100体が、ATC内の様々な場所に配置され、ATCの施設、店舗、イベントなどを案内する。

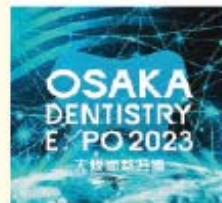
【日付】2023.7.10～20



歯科万博2023（咲洲プレ万博公式プログラム）

国内外から歯科医師さんや、一般の方、学生さんなどたくさんの方に足を運んでいただける催しとなった。

【日付】2023.8.4～6



未来社会の実証実験展

<ビジネスデー（1日[金]）：展示・商談会&セミナー>

商談はもちろん協業先探索、体験を通じた自社事業へのヒント探索に。ビジネスセミナーも充実。

<パブリックデー（2日[土]）：体験イベント>

体験展示のほか、体験イベント「エンタメ」では、ワークショップなども充実。

【日付】2024.3.1・2



【万博開幕1年前・ATC30周年記念イベント】『咲洲プレ万博 SPRING FESTIVAL in ATC』

大阪・関西万博開幕の1年前にあたる、前日の4月13日（土）に、万博機運醸成を兼ねた記念イベント「ATC30周年記念 咲洲プレ万博SPRING FESTIVAL in ATC」を開催。「咲洲 World Healthy Festa!」、「ATC ECO EXPO」、「TEAM EXPO2025 共創フェスティバル Art de Peace おえかきコンテスト」等。

【日付】2024.4.13・14



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

公共サービス事業部の取組み

■ おおさかATCグリーンエコプラザ〈日本最大級の環境ビジネス常設展示場〉

面積4,500㎡ 出展者数120社（2024年3月末）※セミナー回数52回

※エコが取り組むSDGsの目標とターゲットSDGs4番、9番、12番、13番、17番



TEAM EXPO 2025 自然・環境セッションを開催

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と共催で、『TEAM EXPO 2025 自然・環境セッション』を行っています。『自然・環境分野で共創し、未来へのワクワクを生み出そう！』をテーマとした共創イベントです。活動内容のピッチ・展示・交流会を実施しており、2024年7月まで6回開催しています。自然・環境をキーワードに多くの方が、出会い、共創するキッカケを作っています。毎回、熱い思いを持つ方々が集まる機会となっています。



TEAM EXPO 2025 テーマ（自然・環境、ヘルスケア、クリエイティブ）セッションを開催

2024年4月12日に大阪・関西万博開幕1年前イベントとして、2023年9月より行っている自然・環境セッションをヘルスケア、クリエイティブと2つのテーマを追加し、拡大したテーマセッションとして開催しました。万博に関わる講師を招き、セミナーを開催した他、ピッチや展示を行いました。

〔日付〕2023.7.10～20



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

TEAM EXPO 2025 テーマセッション（自然・環境5／クリエイティブ2）&TEAM EXPO 交流会

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と共催で「TEAM EXPO 交流会」を開催しました。本交流会は、「TEAM EXPO 2025」プログラムの参加者同士が直接会話する機会を通じ、お互いを知り、繋がるきっかけにしてほしいと考え、行いました。「自然・環境」等のテーマを設けないことで、より多くの方にエコプラザへ足を運んで頂けるようにいたしました。



日付 2024.6.7

ROAD to 2025 EXPOカウントダウンセミナー

「スイススタートアップ100」としてスイスパビリオンのテーマでもある「革新的なスイス」をいち早く発信。

日付 2023.10.3

「TEAM EXPO 2025」グローバルセッション ～次世代・インクルージョン～

インド・ベンガルールから世界課題を解決する企業・団体の出展、プレゼンテーション、交流会。
万博の「テーマウィーク」プログラムの8つのテーマに沿って、これらの課題に対する出展者の具体的な取り組みを紹介。

日付 2024.6.18・19

「TEAM EXPO 2025」グローバルセッション ～未来のモビリティ～

日米の「空飛ぶクルマ」のグローバルプレイヤーのピッチ、ディスカッション、交流会。



日付 2024.4.11

環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

ATC ECO EXPO

おおさかATCグリーンエコプラザ主催の万博1年前イベントとして、小学生向けワークショップイベントATC ECO EXPOを開催しました。TEAM EXPO 2025 自然・環境セッション出展者や、エコプラザ出展者ワークショップの他、ミヤクミヤクも訪れ、万博を知る、万博に参加したいと感じるキッカケといたしました。



EXPOゾーンの設置

大阪・関西万博の機運醸成や万博パビリオンのPRの場として、エコプラザをリニューアルして、新たに「EXPOゾーン」を新設しました。万博関連の展示コーナーと撮影スポット（カウンタダウクロックとミヤクミヤクパネル）も設けた結果、イベント開催や団体見学の人気スポットになりました。



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

ATCエイジレスセンター〈豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場〉

面積5,000㎡ 出展者数94社（2024年3月末）※セミナー回数40回
※エイジが取り組むSDGsの目標とターゲットSDGs3番、4番、11番、17番



介護ロボットプラットフォーム事業の充実

3年目となった厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」は、補助金説明会を現地とオンラインのハイブリッドで実施し、併せて合計3社に対して介護ロボット導入支援のための伴走支援を行いました。



「関西キッズ機器展」「エイジレス健康フェスタ'24」開催

障がいを持つ子どもに対して、様々な福祉機器関連の企業団体が集まり体験展示を実施する「関西キッズ機器展」、健康・介護予防の情報発信や生涯学習のきっかけ作りとなる催事を開催し、高齢者の健康促進・介護予防活動を啓発する「エイジレス健康フェスタ'24」は昨年度から規模を拡大して開催されました。



ATC輸入住宅促進センター（IHPC）〈世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場〉

面積3,200㎡ 出展者数115社（2024年3月末）※セミナー件数9回
※IHPCが取り組むSDGsの目標とターゲットSDGs3番、11番、13番、15番、17番



WOOD MEETS「夏休み木材にぎわい展開催」

WOOD MEETS出展団体（主に高知県・島根県）の地域産材を活かした住宅マテリアルや建材、木製品を一般消費者向けに展示する合同イベントを、昨年度に引き続き、ATCビルTM棟2階のセントラルアトリウムで開催しました。



「IFFT2024東京国際家具見本市」出展

東京ビッグサイトで開催された「IFFT2024東京国際家具見本市」の特設ゾーンにWOOD MEETS出展団体の取り組みのPRや国産木材によるデザイン性優れた商品をPRするために、特別出展しました。



環境経営方針に基づく取組み

SDGs・万博分科会

大阪デザイン振興プラザ（デザイナー・クリエイターのための独立・創業支援施設）

面積4,500㎡ 入所者数43社（2024年3月末）※セミナー件数合計63回
※ODPが取り組むSDGsの目標とターゲットSDGs4番、8番、12番、17番



クリエイティブTシャツ展2023の開催

様々なジャンルのクリエイターやデザイン系の学生の作品をTシャツとして展示・販売する「クリエイティブTシャツ展2023」を開催しました。また、ATCの夏休み催事「化石ハンター展〜ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣〜」との連動イベントとして開催しました。



わたしのマチオモイ帖つくってつなぐ展/ODP こどもの森とイラストマルシェ

日本全国のプロのクリエイターが、自分にとって大切な町、ふるさと、学生時代を過ごした町や、今暮らす町など、各地の町で育まれた「わたしの思い出」を小冊子や映像作品にして紹介する展覧会活動である「わたしのマチオモイ帖 つくってつなぐ展」を、恒例の「ODPこどもの森とイラストマルシェ」とともに開催しました。



□編集後記

・環境経営事務局 北澤 弘行

最近、他社の取り組みや環境経営に関するセミナーなどで「Well-being」というキーワードを耳にする機会が増えてきました。「健康経営」や「働き方改革」に代表されるように、社員が健康的に生き生きとして勤務できる環境づくりが、重要なテーマとなってきました。エコアクション21の取り組みを通じて、常に新しい知見を取り入れ、環境経営をアップデートしていければと思います。